

私の留学体験記

広島県立呉宮原高等学校 2年 高平 梓（たかひら あずさ）

留学期間 平成30年3月8日～平成30年3月21日（14日間）

留学先 マウントアナンハイスクール（シドニー、オーストラリア）

この留学を通して、異文化の違いや英語の難しさを実感しました。幸いホストファミリーの方が暖かく迎え入れてくださったので、いろいろな話をたくさんすることができました。何をすればいいのか、どこにいればいいのか、と家での過ごし方に悩んでいる時、いつも優しく声をかけてきてくれて、一緒に庭でトランポリンをして遊んだり、映画を見たり、部屋でお喋りをしたりしました。

しかし、発音の違いから、スペルを口や文字にしたら伝わるのに、そのまま口にするとうわらないということが多々ありました。その時は、なかなか伝わらないもどかしさで悔しかったけど、その分、伝わったときの嬉しさはとても大きかったです。最終的には、みんなで過ごすリビングに自分の定位置ができていて、本当の家族みたいだなあと心が温かくなりました。

日本との違いで1番驚いたのは「食」です。ランチタイムが2回あるし、お店では頼んだ料理が、自分の予想している量の2倍で出てきました。学校から帰ると、昼ご飯より多いおやつが毎日出てきて、日本ではあまり馴染みのない食べ物もあったので毎日のおやつが楽しみでした。

また、日本製の車や機械があらゆるところで見られ、日本との共通点を発見することができました。



学校では初対面にも関わらず、目が合うとにっこり微笑んでくれたり、挨拶をして手を振ってくれたり、フレンドリーな方ばかりでとても楽しかったです。

2週間、日本が恋しくて気持ちが沈んでしまうことも多かったですけど、現地に行くことで自分の英語の弱点や強みを認識することができ、もっと英語力を高めよう、頑張ろうと思えました。お別れのときに泣いてしまうほど学校も友達もホストファミリーも大好きになって本当に忘れられない素敵で大切な思い出になりました。

両親をはじめとする、今回の研修旅行に関わっていただいた全ての方に感謝します。